編　修　趣　意　書
（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
27-213	高等学校	商業	原価計算	

※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名
7 実教	商業 350	原価計算 新訂版

１．編修の基本方針

①　幅広い知識と教養を身に付ける観点から，学習事項に関連する内容の会計処理方法を紹介する囲み記事や学習した内容の確実な理解を図ることを目的とした囲み記事等を掲載している。

②　自主及び自立の精神を養う観点から，章末に練習問題を掲載し，自学自習に役立つよう配慮している。また，巻末には自学自習の手助けとなるよう重要事項のまとめも設けている。

③　正義と責任を重んずるという観点から，原価計算基準とその役割を記述している。また，巻末には原価計算基準の抜粋も掲載している。

④　職業及び生活との関連という観点から，製造現場をイメージできるよう写真やイラスト等を数多く用いて記述している。

２．対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
「まえがき」以下，本書全体	・伝統と文化を尊重し，国際社会の発展に寄与するという観点から，簿記が歴史的技術であることにふれ，本書で学ぶ原価計算が製造業を中心とした多くの企業の経営活動を支えていることを紹介している（第５号）。	p.2～3 p.7～251
第１編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，原価計算に関する基礎的な内容を記述した（第１号）。 ・自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている（第４号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して登山を行う内容を掲載した（第３号）。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から，大型ヨットと遊覧ボートを例に原価計算の概要を説明している（第２号）。	p.7～46 p.7 p.7 p.16～17
第２編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，費目別計算に関する基礎的な内容を記述した（第１号）。 ・自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている（第４号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して登山を行う内容を掲載した（第３号）。 ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，特殊仕訳帳を利用した場合の処理や会計処理方法の別法を記述した。	p.47～92 p.47 p.47 p.52，56，64，70～71，74，77，89
第３編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，原価の部門別計算と製品別計算に関する基礎的な内容を記述した（第１号）。 ・自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている（第４号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して登山を行う内容を掲載した（第３号）。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から，工場の製造現場がイメージできるようなイラスト等を掲載している（第２号）。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から，製品として扱う題材や例示を身近なものとしている（第２号）。	p.93～186 p.93 p.93 p.95，p.115，p.123，p.166，p.176 p.112～113 p.140，p.154，p.157，p.183

第４編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，製品の完成と販売に関する記帳について基礎的な内容を記述した（第１号）。 ・自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている（第４号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して登山を行う内容を掲載した（第３号）。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から，完成した製品の例を身近なものとしている（第２号）。	p.187～206 p.187 p.187 p.188～189
第５編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，標準原価計算に関する基礎的な内容を記述した（第１号）。 ・自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている（第４号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して登山を行う内容を掲載した（第３号）。 ・真理を求める態度を養うという観点から，発生した原価差異がどのような理由から発生し，どのように改善できるかについても記述している（第１号）。	p.207～236 p.207 p.207 p.219，221，224
第６編	・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，直接原価計算に関する基礎的な内容を記述した（第１号）。 ・自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている（第４号）。 ・男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるという観点から，協力して登山を行う内容を掲載した（第３号）。 ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から，「原価予測の方法」，「損益分岐点比率と安全余裕率」を発展学習として掲載した（第１号）。	p.237～249 p.237 p.237 p.249～251
記帳練習例題	・自主及び自立の精神を養う観点から，記帳例題を掲載し，自学自習に役立つよう配慮している。	p.252～264

３．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色
①　豊かな人間性，創造性を養うという観点から，様々な形式の例題を扱い，対応する練習問題を掲載している。 ②　一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得するとい観点から，工業簿記，原価の費目別計算，原価の部門別計算と製品別計算，製造業の原価管理に役立つ標準原価計算，さらに，利益計画に役立つ直接原価計算まで丁寧に記述している。

編　修　趣　意　書
（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
27-213	高等学校	商業	原価計算	

※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名
７実教	商業 350	原価計算 新訂版

１．編修上特に意を用いた点や特色

本書は，「原価計算」を履修する学習者のために，製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ，原価情報を活用する能力を育成することを目的として編修した。

本書は，上記の目的を効率よく達成できるようにするため以下の点に配慮している。

(1)　全体を「第１編　原価計算の基礎」，「第２編　原価の費目別計算」，「第３編　原価の部門別計算と製品別計算」，「第４編　製品の完成・販売と決算」，「第５編　標準原価計算の基礎」，「第６編　直接原価計算の基礎」に分けて，各編ごとにまとまりのある学習ができるようにした。

(2)　第１編の「第３章　工業簿記」では，総論としての基本的事項を学習するという点から，製造勘定と製造間接費勘定を用いる個別原価計算の記帳手続きの例示を取り扱った。

(3)　原価計算の手順については，整理統合をはかり，編を設けて「第２編　原価の費目別計算」「第３編　原価の部門別計算と製品別計算」とした。また，第３編では個別原価計算を基本として，易から難へと段階的に学習できる内容配列を行った。

(4)　注は，本文と対比しやすいように，該当箇所の横に配置した。

(5)　生徒の間違いやすい箇所については，ていねいにわかりやすく記述するとともに，必要に応じて，仕訳上の注意，計算上の注意などの囲み記事を設けた。

(6)　図解を多く用いて，記帳手続きの流れや学習事項の相互関係などを視覚的に理解できるよう配慮している。

(7)　本書は，例題を豊富に掲げ，練習問題を各章末に，記帳練習例題を巻末に設けた。これにより，製造業における記帳について習熟できるように構成した。

(8)　カラーユニバーサルによる全編カラー化，記帳体系や金額記入の流れなどについて視覚的に理解できるようにした。

２．対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第１編　原価計算の基礎 第１章　原価と原価計算 第２章　原価計算のあらまし 第３章　工業簿記－製造業における簿記－	(1)　原価と原価計算 ア　原価の概念と原価計算 イ　製造業における簿記の特色と仕組み	p. 7～46	 2 5 5
第２編　原価の費目別計算 第４章　材料費の計算と記帳 第５章　労務費の計算と記帳 第６章　経費の計算と記帳	(2)　原価の費目別計算 ア　材料費の計算と記帳 イ　労務費の計算と記帳 ウ　経費の計算と記帳	p. 47～92	 7 6 4
第３編　原価の部門別計算と製品別計算 第７章　個別原価計算 第８章　部門別個別原価計算 第９章　総合原価計算 第10章　工程別総合原価計算 第11章　総合原価計算における減損・仕損じなどの処理	(3)　原価の部門別計算と製品別計算 ア　個別原価計算と製造間接費の計算 イ　部門別個別原価計算 ウ　総合原価計算	p. 93～186	 12 9 9 5 4
第４編　製品の完成・販売と決算 第12章　製品の完成と販売 第13章　決算と本社・工場間の取引	(4)　製品の完成・販売と決算 ア　製品の完成と販売 イ　工場会計の独立 ウ　製造業の決算	p. 187～206	 2 4
第５編　標準原価計算の基礎 第14章　標準原価計算（その１） 第15章　標準原価計算（その２）	(5)　標準原価計算 ア　標準原価計算の目的と手続 イ　原価差異の原因別分析 ウ　損益計算書の作成	p. 207～236	 3 5
第６編　直接原価計算の基礎 第 16 章　直接原価計算（その１） 第 17 章　直接原価計算（その２）	(6)　直接原価計算の基礎 ア　直接原価計算の目的と損益計算書の作成 イ　短期利益計画	p. 237～249	 3 4
記帳練習例題 第１例題 第２例題 第３例題		 p. 252～253 p. 254～260 p. 261～264	 4 7 5
		計	105

編　修　趣　意　書
（発展的な学習内容の記述）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
27-213	高等学校	商業	原価計算	

※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名
7 実教	商業 350	原価計算 新訂版

ページ	記　　述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
249～250	原価予測の方法	1	(6)　直接原価計算の基礎	2
251	損益分岐点比率と安全余裕率	1	(6)　直接原価計算の基礎	1
			合計	3